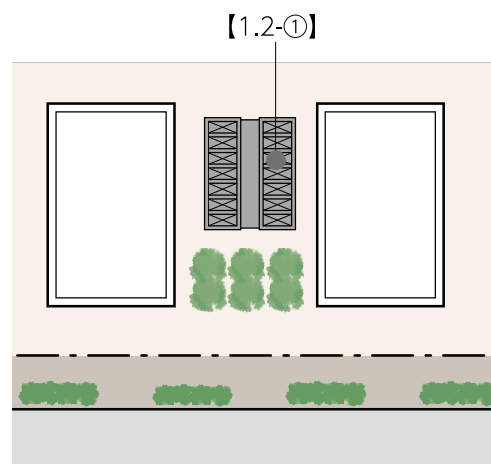


2. 工作物の基準

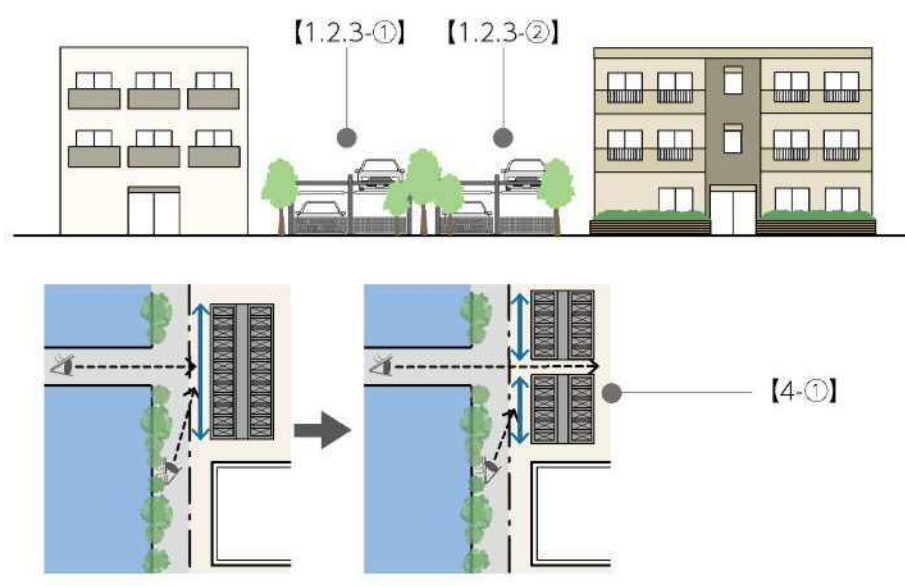
配置

基準	該当の区分		ポイントと取り組み例
	一般地域	景観形成特別地区	
1. 周辺環境に配慮した配置とする。	<div style="background-color: #90EE90; padding: 2px;">低層住居系</div> <div style="background-color: #FFFF99; padding: 2px;">住居系</div> <div style="background-color: #ADD8E6; padding: 2px;">複合</div>		【1.2-①】 工作物は通りから見えない場所に配置する。
2. 歩行者に圧迫感や威圧感を与えないように努める。	<div style="background-color: #FFB6C1; padding: 2px;">商業・業務系</div>	<div style="background-color: #ADD8E6; padding: 2px;">池袋駅東口駅前広場・グリーン大通り沿道</div>	



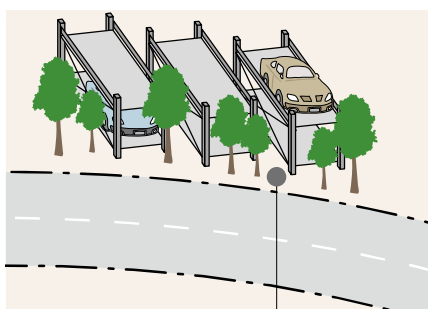
高さ・規模

基準	該当の区分		ポイントと取り組み例
	一般地域	景観形成特別地区	
1. 周辺からの見え方に配慮する。	<div style="background-color: #90EE90; padding: 2px;">低層住居系</div> <div style="background-color: #FFFF00; padding: 2px;">住居系</div> <div style="background-color: #ADD8E6; padding: 2px;">複合</div> <div style="background-color: #FFB6C1; padding: 2px;">商業・業務系</div>	池袋駅東口駅前広場・グリーン大通り沿道	<p>【1.2.3-①】 周辺の建築物を超えない高さにする。</p> <p>【1.2.3-②】 規模を小さくし、植栽などとともに分散配置する。</p>
2. 道路や隣地への圧迫感の軽減に配慮する。	<div style="background-color: #90EE90; padding: 2px;">低層住居系</div> <div style="background-color: #FFFF00; padding: 2px;">住居系</div> <div style="background-color: #ADD8E6; padding: 2px;">複合</div>		
3. 住居系の建築物と隣接する場合は、圧迫感の軽減に配慮する。	<div style="background-color: #FFB6C1; padding: 2px;">商業・業務系</div>		
4. 神田川の水上や遊歩道から見たときに、圧迫感を感じさせないよう、長大な壁面の工作物は避ける。		神田川沿川	【4-①】 壁面の見えがかり部分を小さくする。
5. 庭園内部の主要な眺望点からの見え方をシミュレーションし、庭園からの眺望を阻害する高さや規模とならないよう検討する。		六義園周辺	

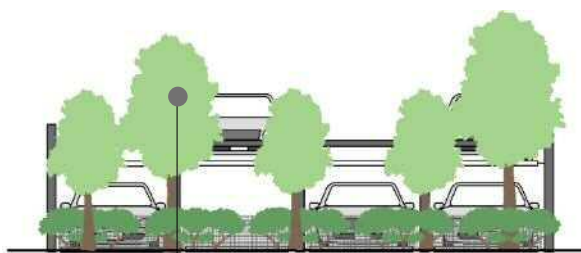


形態・意匠・色彩

基準	該当の区分		ポイントと取り組み例
	一般地域	景観形成特別地区	
1. 色彩は、「色彩基準」に適合するとともに、周辺との調和に配慮する。 ▶P56 (第2章 4 色彩の基準) 参照	<div style="background-color: #90EE90; padding: 2px;">低層住居系</div> <div style="background-color: #FFFF99; padding: 2px;">住居系</div> <div style="background-color: #ADD8E6; padding: 2px;">複合</div> <div style="background-color: #FFB6C1; padding: 2px;">商業・業務系</div>	<div style="background-color: #ADD8E6; padding: 2px;">神田川沿川</div> <div style="background-color: #ADD8E6; padding: 2px;">六義園周辺</div> <div style="background-color: #ADD8E6; padding: 2px;">池袋駅東口駅前広場・グリーン大通り沿道</div>	【1-①】 隣接する建築物と調和する色彩や仕上げ材などを採り入れる。
2. 坂道や緑道等となっている河川沿いなど、地形の変化がある場所では、その変化を生かすよう工夫する。	<div style="background-color: #90EE90; padding: 2px;">低層住居系</div> <div style="background-color: #FFFF99; padding: 2px;">住居系</div> <div style="background-color: #ADD8E6; padding: 2px;">複合</div>		【2-①】 長大な壁面が生じる場合、圧迫感や威圧感を軽減するため壁面を分節する。 【2-②】 道路の線形に合わせて雁行させる。
3. 神田川の水辺、対岸、橋梁などの主要な眺望点から見たときに、水辺の自然環境や周辺建築物と調和する形態・意匠とする。		<div style="background-color: #ADD8E6; padding: 2px;">神田川沿川</div>	【3-①】 水辺の景観を阻害しないように、周囲との緩衝空間を確保し、植栽を設置する。
4. 庭園景観に調和した落ち着いたものとし、突出した形態・意匠を避ける。		<div style="background-color: #ADD8E6; padding: 2px;">六義園周辺</div>	
5. 壁面を分節化するなどの工夫をし、庭園から眺望できる部分が長大な面積とならないようにする。		<div style="background-color: #ADD8E6; padding: 2px;">六義園周辺</div>	



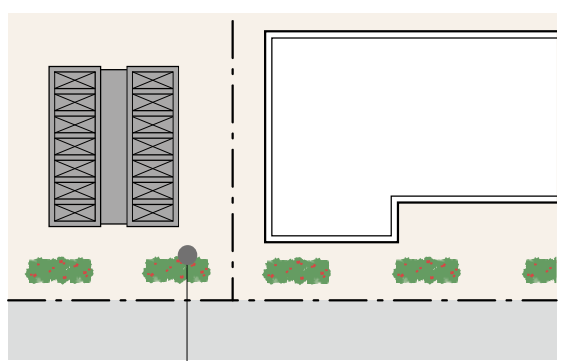
【2-②】



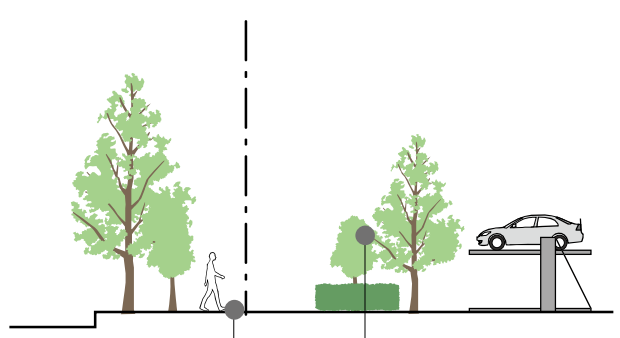
【3-①】

外構・緑化等

基準	該当の区分		ポイントと取り組み例
	一般地域	景観形成特別地区	
1. 外構計画は、隣接する敷地や道路など周囲の街並みとの調和に配慮する。	<div style="background-color: #c8e6c9; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">低層住居系</div> <div style="background-color: #fff9c4; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">住居系</div> <div style="background-color: #bbdefb; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">複合</div> <div style="background-color: #e1bee7; padding: 2px;">商業・業務系</div>		<p>【1-①】 外構の植栽を隣地と連続させる。</p> <p>【1-②】 道路に面した空地は、歩道状空地として開放する。</p> <p>【1-③】 歩道の舗装と調和した素材、色調にする。</p> <p>【1-④】 段差をなくし、歩道と連続させる。</p>
2. 周辺のみどりとの連続性を考慮し、敷地や工作物を緑化する。	<div style="background-color: #c8e6c9; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">低層住居系</div> <div style="background-color: #fff9c4; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">住居系</div> <div style="background-color: #bbdefb; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">複合</div> <div style="background-color: #e1bee7; padding: 2px;">商業・業務系</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #e0e0e0;">池袋駅東口駅前広場・グリーン大通り沿道</div>	<p>【2-①】 道路沿いに生け垣や花壇を設ける。</p> <p>【2-②】 花の咲く樹種や草花を取り混ぜ、季節感や色彩の変化を表現する。</p> <p>【2-③】 植栽に、高木・中木・低木を取り混ぜ、視覚的なリズムをつくる。</p>



【1-①】



【1-④】
【2-①、2-③】